

[05-05]九州大学大型計算機センター広報表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/1468009>

出版情報：九州大学大型計算機センター広報. 5 (5), 1972-10-16. 九州大学大型計算機センター
バージョン：
権利関係：

センターからのお知らせ

“ルールを守ろう”

本センターにおける計算需要は年間約50%の増加をたどっており、また計算機システムのハードウェア、ソフトウェア両面における技術の発達は急速で新しい利用方法が次々と開発されています。したがって最近ではオープンパンチ室はいつも空席をさがすことが困難な状況です。オープンパンチ室における作業のルールは種々決められていますが、なかなか守られていない場合が多く、オープンパンチ室に行くたびに1, 2の事例を見るのでここに記してみましよう。

(1) パンチ室入室の際は履き物はきちんとそろえること

オープンパンチ室へ入るところには、靴箱とスリッパが備えられています。にもかかわらず下足は散乱し、いろんな方向を向き、見た目も悪く、通るたびにすごく不愉快です。さすがに土足のまま入室している人は見かけませんが、スリッパをはいている人もあまりありません。下足は靴箱に入れ、きちっとスリッパをはいたらいかがなものでしょうか？

(2) 予約台の無断使用者にひとこと

時々穿孔機に電源がはいつたままのことがあります。これは“ちょっと一枚のカードの打ち直し”といった理由を自らにいい聞かせて行なっている無断使用者の“しわざ”だろうと思います。正直でエンリョ深い人は空いている時間に予約し、穿孔機を使用しているのですから、必ず受付で予約をして、穿孔機を使用したら、最後（電源切断）まで責任をもってもらいたいと思います。

(3) カードキャビネット内のカードは締め金具で押えておくこと

カードキャビネットの引き出しを引き出すと、必ずといっていいくらいカードがねています。カードが締め金でキチッと押えられていることは、ほとんどありません。これでは、カードが使用前に彎曲してしまい計算機にかけられた時、カードリーダーでひっかかる原因となることは御存知ない方はないと思うのですがネ。

(4) 未使用のカードは必ずカードキャビネットに戻すこと

空いている穿孔機を見渡すと、ほとんどがカードがプログラムユニットの上、カードホッパーの中、また時には、穿孔機の横についているサイドキャビネットの中にも残っていることがあります。“前使用者の善意？”とでもいいたいくなりますが、機械内に長時間放置しておくと、そってしまったり、機械に入りにくくなったりしますから、必ずミスカードは各台備付けの不要カード入れに未使用のカードはカードキャビネットの中へ返すように心掛けていただきたいと思います。また、その際カードの出し入れはていねいに行ない、大切に使用してください。